

第二回目 Alô, Alô, Carnaval あるいは filme revista musical

1930年代、トーキ技術がブラジルにも徐々に輸入され、国内でも無声映画からトーキ映画制作への移行が始まった。そんな中、1931年、コロムビアレコードの音楽監督としてブラジルへ赴任したアメリカ人ウォーレンス・ダウニーが、アメリカで流行っているミュージカル映画を真似て、ノエル・ホーザのサンバタイトルから取った *Coisas Nossas* を撮る。この映画の成功を受け、1933年、シネジアのアデマール・ゴンザーガがウンベルト・マウロの協力を得て、*A Voz de Carnaval* を制作。この映画にカルメン・ミランダが映画初出演。1934年、ウォーレンス・ダウニーはシネジアと共同で *Alô, Alô, Brasil!* を監督、制作。有名なラジオ歌手たち (Cesar Ladeira, Mesquitinha, Almirante, Dircinha Batista, Ary Barroso, o Bando da Lua) をスクリーンに引っ張り、歌わせた。1935年、またもやシネジアと共同で *Os Estudantes* を制作。この映画でカルメン・ミランダは単に歌手としてではなく、初めて女優として出演。翌年、今度はアデマール・ゴンザーガの監督で *Alô, Alô, Carnaval* (1936) を制作。この映画はコンビ3部作のなかでも一番人気のあった作品で、Dircinha Batista, Francisco Alves, Almirante, Aurora と Carmem のミランダ姉妹等ラジオ歌手たちと喜劇俳優オスカリトが出演しており、歌あり、笑いありのまさに大エンターテインメント作品となっている。映画が大反響であったにもかかわらず、アデマールとウォーレンスの共同制作はこの3本で終符を打つ。

これらの映画はすべてビデオ化されていないが、*Alô, Alô, Carnaval* は2002年修復されて、再上映された。

参考文献:

Andries, André. *O cinema de Humberto Mauro*. Rio de Janeiro, Funarte, 2001
Monteiro, Bilharinho, Guido. *Cem anos de cinema brasileiro*. Uberaba, Instituto Triangulino de Cultura, 1997
José Carlos. *História visual cinema brasileiro*. Rio de Janeiro, Funarte, 1996

参考 WEB サイト:

http://www.cineclick.com.br/cinebrasil/historia_br.html